

相模経済新聞

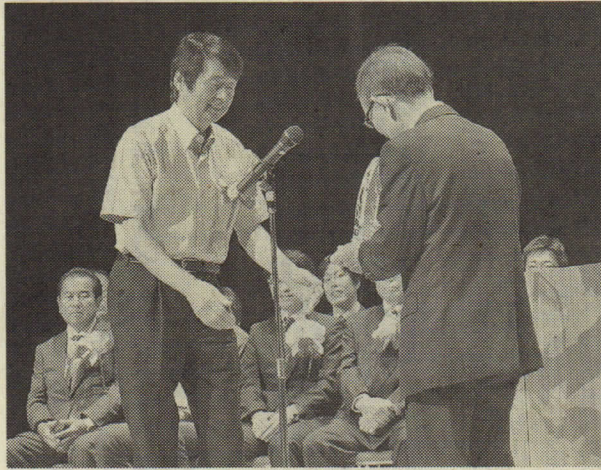
THE SAGAMI KEIZAI

2015年(平成27年)9月20日(日曜日)

産業ナビ賞
産大

相模原の2社選出

ブルースターが大賞に



大賞を受賞したブルースターの柴野会長(左)

新製品や新技術などで成果を出した県内中小企業を表彰する「かながわ産業ナビ大賞」に相模原市内企業2社が選出された。ブルースターR&D(中央区横山台)がフロンティア部門の「大賞」、スプリングアート(緑区西橋本)が「奨励賞」を獲得。11日に横浜市中で表彰式が開かれた。(芹澤 康成)

応募企業数59社

大賞に輝いたブルースターR&Dの「超音波バリ取り装置」は、球状星雲型キャビティ(微細な泡)の発生と消滅を操

作することで、衝撃力による安定したバリ取り洗浄ができる。特徴は、洗浄液として水を利用することで素材

を飛ばす環境にも優しく、一度に1個から1千個まで対応できる。人件費の大幅削減となり、競争力の強化につながる。春先から業務の請負い形式の受注も増え、自動車部品の製造業など約30

社から依頼が来る。購入を検討しているが、設備投資に不安が残る企業が試用目的で発注している。スプリングアートは、次世代の理容室「メンズトータルサロン」が評価

され、奨励賞に選出された。男性にターゲットを絞り、従来の理容室にない新サービスを企画・開発している。目玉は、男性向けの「メンズエステ」。エステ業界から講師を招いて、スタッフが研修指導を受けるなど本格的。「エステは恥ずかしくて行けない」という客に好評で、50代、60代の利用者も増えているという。

同大賞は、県経営者福祉振興財団が、県内の中小企業を対象に毎年実施している。新技術や新製品などを開発し、その結果、売り上げ向上や販路拡大といった具体的な成果が出たものが応募条件となる。6回目となる今年には、計59社が応募した。